



はとの子だより

No. 13 令和7年3月27日(木)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

ご退任・ご異動の先生方からのメッセージ

3月22日付けの新聞紙上でご覧になった方も多いと思いますが、秋田県公立小・中学校定期人事異動が発表となりました。そこに掲載されない方も含めて、計11名の教職員とお別れすることとなりました。

ご退任、ご異動の先生方には、本校の子どもたちが本当にお世話になりました。名残惜しいところではありますが、また新たな生活を迎えるに当たり、益々のご健康とご活躍をお祈りしております。

これまでありがとうございました。

保坂 茂 教頭

潟上市立飯田川小学校へ（校長昇任）

創立150周年を迎えた今年。グラウンドでの歓声、体育館いっぱいに響き渡る歌声、子どもたちが作った映画、何よりも毎日教室で見せる真剣な眼差し。きっと200周年でも受け継がれていると思います。お世話になりました。ありがとうございました。

中田 貴広 先生

秋田市立中通小学校へ

附属小学校で3年間お世話になりました。毎日、子どもたちの笑顔とどんなことにも一生懸命頑張る姿に元気をもらい、私も頑張ることができました。温かく見守ってくださった保護者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

佐々木 絵理子 先生

潟上市立追分小学校へ

この学校での6年間、いろいろなことがありました。いつも優しく明るいみなさんのおかげで、私の6年間はとても素敵な時間となりました。これからもその優しさと明るさを広げていってください。応援しています。ありがとうございました。

井谷 紀子 先生

秋田市立勝平小学校へ

明るく元気いっぱいで、知的好奇心にあふれる附属小学校のみなさんと一緒に過ごした日々は、とても楽しく幸せな時間でした。大変お世話になりました。ありがとうございました。

鈴木 聡 先生

秋田大学教育文化学部附属中学校へ

13年間お世話になった附属小から、6年生と一緒に附属中へ異動となりました。知的好奇心が旺盛で学びを楽しむはとの子の皆さんから喜びと刺激をもらい続けた毎日でした。はとの子の活躍を隣から応援しています。

井上 駿太 先生

羽後町立三輪小学校へ

子どもたちと過ごす中で、はとの子の発想力にいつも驚かされていました。子どもたちと一緒に学び、自分自身も成長できた3年間だったなあとと思います。本当にありがとうございました。

長谷川 裕子 先生

ご退職

校舎のあちらこちらから聞こえてくる天使のハーモニーに癒やされながら一年間をすごすことができました。響き合う歌声は、はとの子のみなさんの宝物です。感動をありがとうございました。

山影 桜乃 先生

大館市立城西小学校へ（採用）

元気で明るく、やる時にはしっかりと取り組んでがんばろうとする子どもたちの姿。それをつかず離れず見守ったり支えたり、子どもたちから新しく気づかされる事があつたりと、とても充実した4年間でした。本当にお世話になりました。

安藤 のどか 先生

那須塩原市立東那須野中学校へ（採用）

3年生のみなさん、理科の授業では大変お世話になりました。楽しい日々はあっという間で、忘れられない5か月間になりました。理科では、「何で?」「どうして?」の気持ちを大切にしつづけてくださいね。本当にありがとうございました。

渡邊 真紀 先生

ご退職

腰の高さまでしかなかった君たちは、今では私よりも高い目線を持っている。日々の活動の中でぐんぐん伸びていくのを目のあたりにする喜び。そんな日々を与えてくださった皆様、本当にありがとうございました。またお会いしましょう。

高橋 想奈 先生

大仙市立花館小学校へ（採用）

4年生の社会科を担当しました。ふるさと秋田についてみなさんと学ぶことができ、うれしかったです。かけがえのない思い出・経験になりました。これからは県南から、みなさんを応援しています！ありがとうございました。



3月27日(木)の離任式では、PTAの皆様からの温かなお心遣いをいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

修了式を終えて

3月21日(金)1校時に、まだ晩冬の気配漂うアリーナで修了式を行いました。各学級の担任による「第〇学年修了、〇組、〇〇名」という点呼に応じてさっと立ち上がった子どもたちの佇まいが、この1年を頑張り通した気概と、新たな学年への進級に向けた決意とを滲ませていて、

とても頼もしく感じました。

創立151

年目のはとの子たちが、新たな伝統を創り上げる来年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。1年間、どうもありがとうございました。



佐々木雅子校長先生 修了式の挨拶

皆さん、おはようございます！1年生、2年生、3年生、4年生、5年生、それぞれの学年における修了、おめでとうございます。試合終了などの単に「終わる」という意味ではなく、「身につけた」という意味を持つ修了ですので、皆さんひとりひとりにとって、とても意味のある重い響きを持つものです。通知表の「修了」という文字を見て、この1年にあったことをひとつひとつ思い出し振り返り、自分を誉めたり、励ましたりしてください。

また、1学期、2学期の「終わる」という終業式と意味が異なるのに加え、空間的にもこのアリーナはいつもと違う感じですか。6年生が4日前に卒業し、6年生がいた場所に5年生、5年生がいた場所に4年生という具合に、場所の趣が異なりますね。

毎週金曜 午後9時05分『高橋源一郎の飛ぶ教室』という番組がNHKラジオ第1で放送されます。はじまり数分間のオープニング・エッセーをまとめた本の中に「その人のいない場所で」という回があり、「その人のいない場所で、その人のことを思い出しながら、その人がやったように、なにかを紡いでいく。」ということばが書かれていました。来年度2025年度には、新学年となり、その紡がれてきたものを受け継ぎ、皆さんそれぞれの色に彩っていくものと思います。

中国の古い詩に、「春の風は一色なのに、花はそれぞれの色に咲く」（篠田桃紅『これでおしまい』p.41より）という意味の漢詩があるそうです。春になると様々な色の花が咲くように、皆さんもひとりひとりそれぞれの色で新しい学年を彩っていくことでしょう。春休みはその準備期間となります。

例年にも増して、ゆっくりとした春の訪れです。私は出張のため、昨日東京から戻ってきましたが、上野公園の噴水池の周りにはうっむいて咲く壺型の桜、カンヒザクラ（寒緋桜）が咲いていました。新幹線で盛岡を過ぎると雪景色。北国の春の訪れはもう少しかかるのだなあと思いましたが、本格的な春を迎えるまでのこの季節、春に思いを巡らし、万全の準備を整えることができると思いました。

4月4日の始業式までの13日間、よい春休みにしましょう。新たな気持ちで皆さんに会えることを楽しみにしています。

